

ふくしま未来食・農教育プログラムの開発及び実施

背景

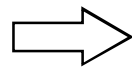
背景・課題

- 食料供給基地である福島県で原子力災害が発生し、土壌・陸海水の汚染により食料の安心安全を脅かす状況。
 廃業する農家、購買回避する消費者の出現。
 我が国の食料の安定供給にかかる問題
- 汚染地域での新たな営農システムの確立、食産業クラスターの創設、新エネルギーの創造、食の安全性を担保する
 検査方法の確立とその担い手育成は、福島県の復旧・復興に不可欠であり、我が国の食料の安定供給に繋がる。

目的

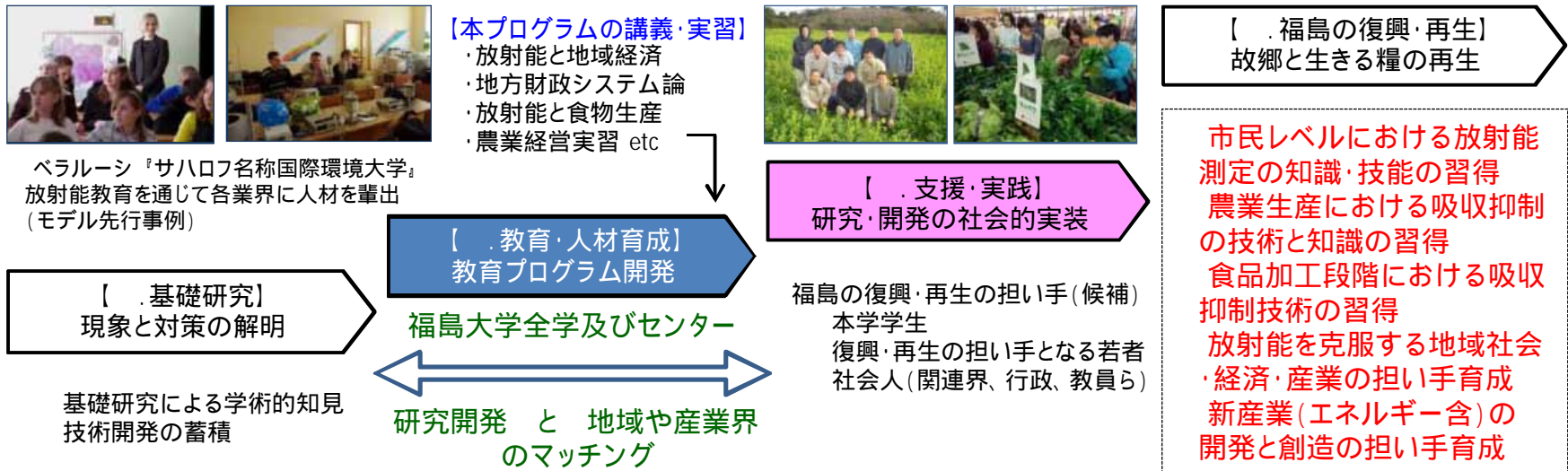
目的・ねらい

- 原子力災害から農山漁村の復興には、人づくり、地域づくり、産業づくりが重要。
- 放射能、食や農に関する幅広い知識(自然科学、農学から社会科学まで)と、これを復興への具体的な礎とするための構想力や実現力を培うことが不可欠。



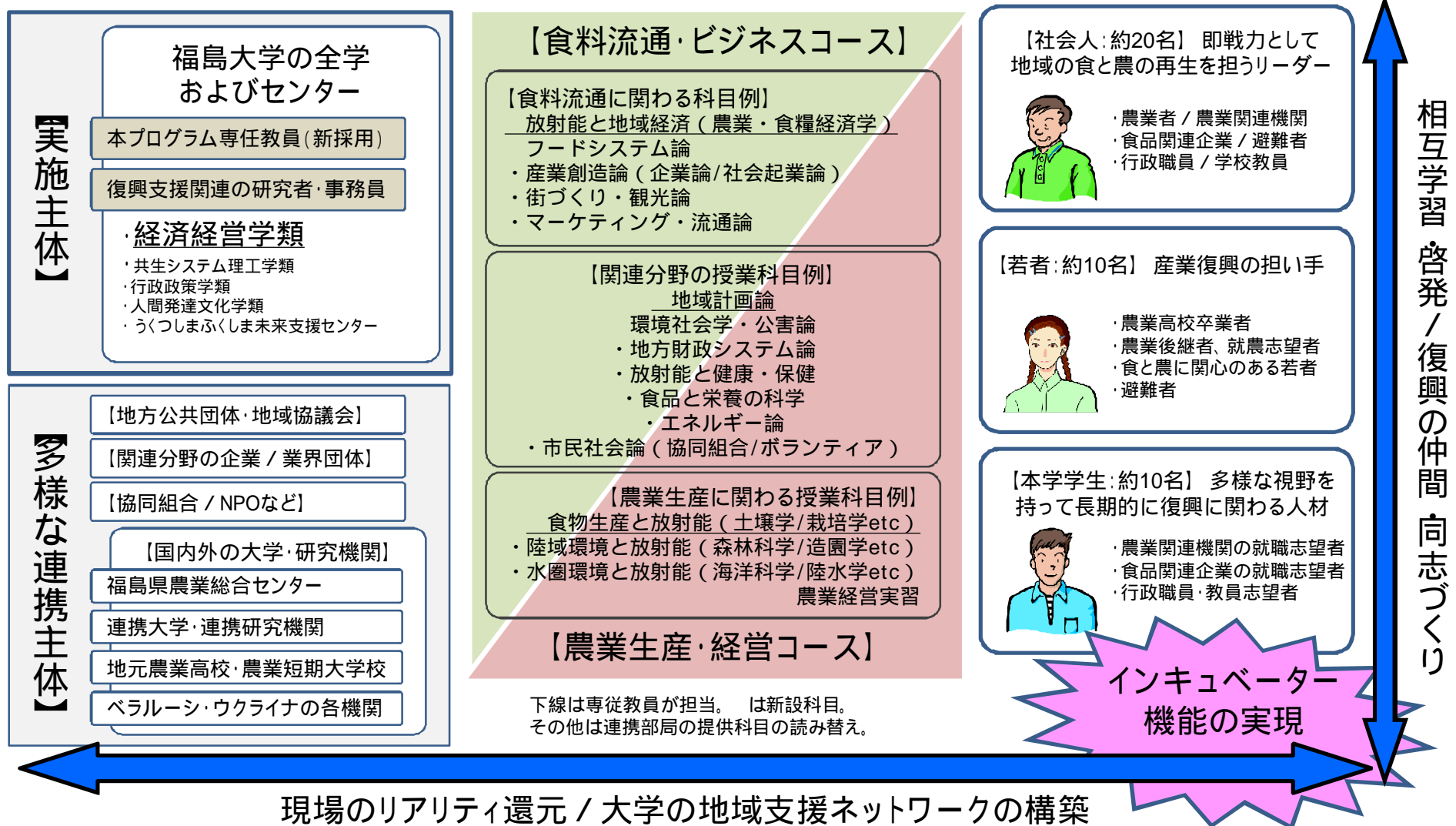
原子力災害とその復興・再生に関心を寄せ、農学、環境学、農業経営などを学ぶ学生、農業生産者、行政職員及び学校教員などの社会人を対象とした「**ふくしま未来食・農教育プログラム**」を開発し、**高い専門性と実行力を備えた人材育成を行う**。本プログラムにより高度な知識と素養を備えた復興の担い手を育成することで、被災者自身による実践的活動をサポートし、福島大学の農山漁村の復興を実現。

効果



『ふくしま未来食・農教育プログラム』の実施体制

本教育プログラムは、福島大学が原子力災害の最前線にある地元大学として地域の復興・再生を支援するとともに、それに資する高い専門性と幅広い素養を持った人材を育成する。本学学生のみならず、農林水産業の復興・再生を志す若者、復興と再生の最前線にある農業者、農業関連機関・食品関連企業の職員、行政職員、学校教員、及び避難者といった社会人の再教育にも意識的に取り組み、多様な主体によるオール福島での食と農の復興・再生を目指す。本プログラムで形成される人的ネットワークは、受講生間の連帯を構築するだけでなく、福島大学、ひいては全国の研究・教育機関が被災地との強力なパイプを確保し、最新の研究成果や技術を迅速に地域に還元してゆく等、復興・再生の“インキュベーター”としての存在感も発揮する。



福島大学大学院 平成 25 年度新設コース 一般公開のお知らせ

●ふくしま未来食・農教育プログラム

(福島大学大学院 経済学研究科 産業復興学)



日時：2013年 5/9 - 7/11

毎週木曜日 18:00 - 19:30

場所：福島大学L棟 L-3教室

対象：学生、一般

(どなたでも参加出来ます)

料金：無料(事前申込不要)

交通：JR 東北本線金谷川駅

(徒歩10分)



お問い合わせ

小山良太(福島大学経済経営学類 准教授/うつくしまふくしま未来支援センター産業復興支援部門長)

ふくしま未来食・農教育プログラム事務局 担当/高橋(平日9:00~17:00)

〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地 経済経営学類棟607研究室

Tel/Fax:024-548-8380 Mail:gp-taka@econ.fukushima-u.ac.jp

日程	講師 / 所属	講義タイトル
2013年 ● 5月9日	佐藤 守 (農業総合センター)	樹園地における放射能汚染動態と放射性Csの果樹への移行
● 5月16日	濱田武士 (東京海洋大学)	漁業と震災そして復興
● 5月23日	小松知未 (福島大学)	農産物の自給・地産地消・販売の回復 - 消費者意識と地域の実践から -
● 5月30日	野中昌法 (新潟大学)	土と農業 - 生命を育む土の力と放射性物質 -
● 6月6日	長谷川浩 (福島大学)	有機農業による持続可能な復興を目指して
● 6月13日	根本圭介 (東京大学)	水田における放射性セシウムの動態と稲への移行
● 6月20日	大鎌邦雄 (東北大学)	農業集落と農村行政システム - その形成と変貌 -
● 6月27日	金子信博 (横浜国立大学)	放射セシウムによる森林の汚染と対処
● 7月4日	吉川夏樹 (新潟大学)	流域面源型の放射性セシウムの流出特性
● 7月11日	小山良太 (福島大学)	放射能汚染から食と農の再生を

佐藤守 (福島県農業総合センター)

所 属: 福島県農業総合センター
果樹研究所栽培科 専門研究員

専 門: 果樹園芸学、果樹育種学

講義タイトル: 樹園地における放射能汚染動態と放射性Csの果樹への移行

キーワード: 土壌汚染、樹皮汚染、経年減衰効果、成長による希釈効果、果実中放射性Cs濃度

濱田武士 (東京海洋大学)

所 属: 東京海洋大学 准教授

専 門: 漁業経済学

講義タイトル: 漁業と震災そして復興

キーワード: 漁業、津波被害、海洋汚染、社会災害

小松知未 (福島大学)

所 属: 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター
農業復興支援担当 特任助教

専 門: 農業経営学・農業経済学

講義タイトル: 農産物の自給・地産地消・販売の回復
- 消費者意識と地域の実践から -

キーワード: 福島県北の農産物直売所調査、全国消費者意識調査、果樹経営グループ、住民組織

野中昌法 (新潟大学)

所 属: 新潟大学大学院技術経営研究科長
農学部(土壌学研究室) 教授

専 門: 土壌環境学・有機農業学

講義タイトル: 土と農業 - 生命を育む土の力と放射線物質 -

キーワード: 土(土壌)地域資源、腐植、粘土、有機農業、放射線セシウム

産業復興学 講義日程と講師紹介（後半）

日程	講師 / 所属	講義タイトル
2013年 6月6日	長谷川浩（福島大学）	有機農業による持続可能な復興を目指して
6月13日	根本圭介（東京大学）	水田における放射性セシウムの動態と稲への移行
6月20日	大鎌邦雄（東北大学）	農業集落と農村行政システム—その形成と変貌—
6月27日	金子信博（横浜国立大学）	放射セシウムによる森林の汚染と対処
7月4日	吉川夏樹（新潟大学）	流域面源殻の放射性セシウムの流出特性
7月11日	小山良太（福島大学）	放射能汚染から食と農の再生を

長谷川浩（福島大学）

所 属：福島大学うつくしまふくしま未来支援センター
農業復興支援部門担当 特任研究員
NPO法人福島県有機農業ネットワーク
NPO法人市民放射能測定所福島

専 門：有機農業学

講義タイトル：有機農業による持続可能な復興を目指して

キーワード：住民参加型復興、有機農業

根本圭介（東京大学）

所 属：東京大学大学院 農学生命科学研究科
生産・環境生物学専攻 教授

専 門：栽培学

講義タイトル：水田における放射性セシウムの動態と稲への移行

キーワード：稲、放射性セシウム、水田生態系

大鎌邦雄（東北大学）

所 属：東北大学名誉教授

専 門：農村社会史、農業経済史、農村行政史

講義タイトル：農業集落と農村行政システム
—その形成と変貌—

キーワード：農業集落の組織と機能、農村行政の執行と意思
決定、行政と共同体

金子信博（横浜国立大学）

所 属：横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授

専 門：土壌生態学

講義タイトル：放射セシウムによる森林の汚染と対処

キーワード：放射能汚染、森林生態系、里山、森林施業、物
質循環

吉川夏樹（新潟大学）

所 属：新潟大学農学部 准教授

専 門：農業水文学

講義タイトル：流域面源殻の放射性セシウムの流出特性

キーワード：放射性セシウム、可給態画分、用水、水田

小山良太（福島大学）

所 属：福島大学経済経営学類 准教授
福島大学うつくしまふくしま未来支援センター
産業復興支援部門長

専 門：農業経済学・地域経済学

講義タイトル：放射能汚染から食と農の再生を

キーワード：農業復興、地域再生、農産物検査体制、風評被
害、協同組合、多様な主体の連携、損害賠償